

機械器具 14 打診器
一般医療機器 打診器 11950000

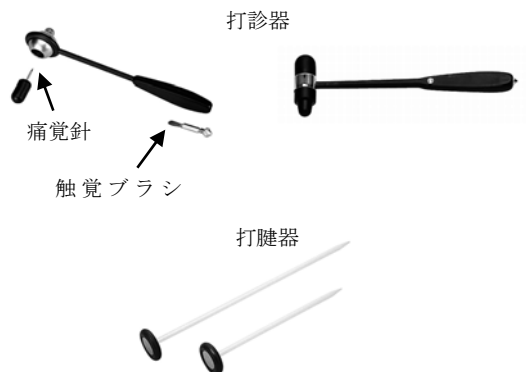
カーウェ打診器

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

弾力性のあるゴムのヘッド、金属又はプラスチック製の柄及び痛覚針・触覚ブラシ(一部を除く)から構成される。
触覚ブラシは非医療機器。

代表的写真



2. 原材料

1) ヘッド

打診器：黄銅（真鍮）及び合成ゴム

打診器：ステンレス鋼及び合成ゴム

2) 触覚ブラシ

人工毛

3) 痛覚針

ステンレス鋼

3. 原理

手操作によりヘッドで胸壁等に刺激を与える。

【使用目的又は効果】

ハンドル、軸及びヘッドからなる金属製（通常、ステンレス製）の器具をいう。反射を検査するため身体に力を伝達するために用いる。ハンドルは手のひらに適合するように設計され、通常、丸く軸に向かって先細になり、この軸の先端にヘッドがある。打診槌のヘッドは様々な形状のものがある。衝撃を吸収するために片端又は両端をゴム又はプラスチックの様々な形状の物質に取り付けるハンマーヘッドもある。ヘッド全体がゴム又はプラスチック製のものもある。

【使用方法等】

- 1) 使用前に、必要に応じて洗浄・消毒する。
- 2) 先端を検査部位にあてがい、柄を手で操作してたたく。
- 3) 胸壁を中心として、音の大小（清・濁）、音の高低、音の振動の変化を聞き胸腔内の病変を探る。
- 4) 触覚ブラシ及び痛覚針は部位の皮膚に当て、異常の有無あるいはその強弱を計る。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに洗浄し、消毒する。
- 2) 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取扱方法を守る。中性洗剤を推奨する。
- 3) 金属タワシ、クレンザー（磨き粉）等は、器具表面を損傷するので使用を避ける。
- 4) 仕上げすぎには、精製水・脱イオン水・濾過水等の使用を推奨する。
- 5) 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥する。
- 6) 痛覚針は、高圧蒸気滅菌（134℃/5分）が可能。
- 7) 使用前に汚れ・破損等を点検する。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：村中医療器株式会社

TEL 0725-53-5546

<http://www.muranaka.co.jp/>

製造業者：キルシュナー ウィルヘルム社 ドイツ

Kirchner & Wilhelm GmbH + Co. KG